

(別紙様式8)

通信実施計画書

事業者名： (株)スローライフ芳寿会 介護職員初任者研修事業

研修期間： 令和 2年 9月 6日～ 2年 12月 20日

1 添削指導

(1) 添削責任者

講師番号	氏名	担当する科目・項目名	講師要件	専兼の別	新規・継続の別	備考
1	稲葉伸二	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	エ	専任	新規	
2	田端大士	3. 介護の基本	ア エ	専任	新規	
3	大石真紀	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	
4	神谷孝	7. 認知症の理解	ア エ	専任	新規	
5	三浦加奈子	5. 介護におけるコミュニケーション技術	ア エ	専任	新規	
8	松川千春	8. 障害の理解	ア エ	専任	新規	
11	山本琢	6. 老化の理解	ア	専任	新規	
14	三倉一郎	2. 介護における尊厳の保持・自立支援	ア エ	専任	新規	

(別紙様式8)

(2) 課題作成者

講師 番号	氏名	担当する科目・項目名	講師 要件	専兼の 別	新規・継 続の別	備考
1	稲葉伸二	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	ア エ	専任	新規	
2	田端大士	3. 介護の基本	ア エ	専任	新規	
3	大石真紀	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	
4	神谷孝	7. 認知症の理解	ア エ	専任	新規	
5	三浦加奈子	5. 介護におけるコミュニケーション技術	ア エ	専任	新規	
8	松川千春	8. 障害の理解	ア エ	専任	新規	
11	山本 琢	6. 老化の理解	ア	専任	新規	
14	三倉一郎	2. 介護における尊厳の保持・自立支援	ア エ	専任	新規	

(別紙様式 8)

(3) 添削指導の進め方 (具体的な課題の配布方法・時期、提出方法、評価方法等)

課題の配布方法	・申込後受講料の入金を確認し、テキストと課題(問題集)を同封して発送する。
時期	・募集期間中にテキストと問題集を送付する ・自宅学習課題は開講期間中(下記参照)までに課題提出を完了する。 課題1・・・スクーリング第2回まで 課題2・・・スクーリング第3回まで 課題3・・・スクーリング第4回まで 課題4・・・スクーリング第5回まで 課題5・・・スクーリング第6回まで 課題6・・・スクーリング第7回まで 課題7・・・スクーリング第8回まで 課題8・・・スクーリング第9回まで
提出方法	・各課題の提出方法は、当社へ持参及び郵送(当日必着)にて提出
評価方法	・理解状況を確認するため、学科レポート採点基準は70点以上を合格と定め、各担当講師が採点をし、評価を行う。また基準に満たない者へは再学習の上で再提出を求める。合格点に達するまで再提出を続ける事とする。 ・自宅学習時の疑問や質問等はスクーリング時に対応し、通信補講を行う。

(別紙様式8)

2 面接指導

(1) 面接指導者

講師番号	氏名	担当する科目・項目名	講師要件	専兼の別	新規・継続の別	備考
1	稲葉 伸二	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	ア エ	専任	新規	
2	田端 大士	3. 介護の基本	ア エ	専任	新規	
3	大石 真紀	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	
4	神谷 孝	7. 認知症の理解	ア エ	専任	新規	
5	三浦加奈子	5. 介護におけるコミュニケーション技術	ア エ	専任	新規	
6	日置 美樹	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	エ	専任	新規	
7	槌田 発美	1. 職務の理解 9. こころとからだのしくみと生活支援技術 10. 振り返り 終了評価	ア エ	専任	新規	
8	松川 千春	8. 障害の理解	ア エ	専任	新規	
9	田中 美幸	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	
10	稲葉 久乃	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	
11	山本 琢	6. 老化の理解	ア	専任	新規	
12	松岡 朋子	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	
13	村上 知佳	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	
14	三倉 一郎	2. 介護における尊厳の保持・自立支援	ア エ	専任	新規	
15	上村 恵子	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	
16	平木 俊	9. こころとからだのしくみと生活支援技術	ア	専任	新規	

(別紙様式8)

17	長野 幸	9.こころとからだのしくみ と生活支援技術	ア	専任	新規	
----	------	--------------------------	---	----	----	--

(2) 面接指導時期、指導時間数

指導回	指導時期	担当講師	内 容 (講義・演習教科名)	時間数
第1回	9/6	槌田 発美	1.職務の理解	6時間
第2回	9/13	田端 大士	3.介護の基本	3時間
		三倉 一郎	2.介護における尊厳の保持・ 自立支援	3時間
第3回	9/20	松川 千春	8.障害の理解	3時間
		山本 琢	6.老化の理解	4時間
第4回	9/27	稲葉 伸二	4.介護・福祉サービスの理解 と医療との連携	6.5時間
第5回	10/4	松岡 朋子	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	7時間
第6回	10/11	大石 真紀	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	3時間
		神谷 孝	7.認知症の理解	3時間
第7回	10/18	日置 美樹	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	3.5時間
		三浦加奈子	5.介護におけるコミュニケーション 技術	3時間
第8回	10/25	上村 恵子	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	7時間
第9回	11/1	槌田 発美	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	7時間
第10回	11/8	稲葉 久乃	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第11回	11/15	長野 幸	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第12回	11/22	田中 美幸	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第13回	11/29	平木 俊	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第14回	12/6	大石 真紀	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第15回	12/13	村上 知佳	9.こころとからだのしくみと 生活支援技術	6時間
第16回	12/20	槌田 発美	10.振り返り	4時間

(別紙様式8)

			修了評価	1.5時間
				計 100.5 時間

- 注1 「担当する科目・項目名」欄には、カリキュラム（別紙様式4）に記載した科目名あるいは項目名を記載すること。科目又は項目名を特定せず面接指導を行う場合、2の（1）「担当する科目・項目名」、（2）「内容（講義・演習教科名）」には、当該面接指導で取り扱う内容について記載すること。
- 注2 「講師要件」「新規・継続の別」「専兼の別」「講師番号」欄には、講師一覧（別紙様式5の1）と同一の内容を記載すること。
- 注3 1の（3）「添削指導の進め方」には、課題の配布方法・時期、提出方法、評価方法等について、具体的な流れに沿って記載すること（別紙にて添付可）。